



東京エレクトロン デバイス
inreviun

「現在、Office365 と MailBase を連携させ、
監査目的で使用しています。
将来は MailBase の個人利用など、活用を
計画しています。」

東京エレクトロン デバイス株式会社
IT 企画部 アドミニストレーター
堀田 信次郎様

導入前の課題

- ・ J-SOX 対応のために、インターネットのモニタリングや外部とのやり取り（メール）を監査用ログとして提出する必要があった。
- ・ 監査条件に対応して抽出したメール監査レポートを提出する必要があった。

導入製品



導入後の効果

- ・ メールすべてのアーカイブを残せることで、監査対応が可能になった。
- ・ 将来的には、メールベースの個人利用を検討し、その準備を進めておきたい。

■ 事業概要

最先端の半導体やネットワークシステムを提供する技術商社

—東京エレクトロンデバイスについてお教えください。

東京エレクトロンデバイスは、最先端の半導体やネットワークシステムなどを、高度な技術サポートと、徹底した検証による品質保証とともに提供する技術商社です。もともとは半導体製造装置メーカー、東京エレクトロンの商社部門が独立してできた会社です。

現在では、上記商品に加え、自社開発による LSI やボードの「デザインサービス」や「自社ブランド商品」の開発も行い、メーカー機能をも併せ持つ体制となっています。

私が所属する IT 企画部はいわゆる情報システム部にあたる機能を担っています。この名称になった理由は、部としては企画を中心に担当し、実際の機器の設定などは外部委託としているからです。

現在、IT 企画部に所属する社員は 12 名で、基幹システムを担当する業務グループと、オープン&ネットワークグループに分かれています。

私が所属するオープン&ネットワークグループでは、インフラ、ネットワーク、サーバーなどの運用・管理を担当しています。

■ 導入の経緯

監査目的で MailBase を導入、Office365 と MailBase を連携

—現在、サイバーソリューションズの「MailBase」をどのようにお使いですか。

「MailBase」の「メール監査機能」を使用して、2007 年 4 月の稼働以来、メールのアーカイブを保存し続けています。

MailBase が保存したアーカイブに対しては、私たち IT 企画部もアクセスしてはいけない社内ルールとなっています。私たちが行うことは、外部監査人からの依頼で、監査人がアーカイブを閲覧できるように設定し、指定された条件に基づいて抽出したメール監査レポートを提出することです。

—「MailBase」を導入された経緯を教えてください。

導入当時、J-SOX 導入に関連して、インターネットのモニタリングや外部とのやり取り（メール）を監査用ログとして提出する必要が生じ、監査担当から監査用ログを取得できるシステム導入の要望がありました。複数社のシステムを比較検討して導入したのが、サイバーソリューションズの「MailBase」です。

—「MailBase」の導入当時はどのようなメールシステムをお使いでしたか。

メールシステムは自社で構築しており、Solaris 上で動く Sun Java System Messaging Server を使用していました。サーバーとしては、メールのスプール用に 1 台、外部と内部の冗長化用に 4 台の計 5 台を使用していました。「MailBase」は内部でウイルススキャンを行うサーバーに格納しています。

User Profile



東京エレクトロン デバイス株式会社

東京エレクトロン デバイス株式会社

<http://www.teldevice.co.jp>

本社：〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町 1-4 横浜イーストスクエア

資本金：24 億 9,575 万円

設立：1986 年 3 月 3 日

代表取締役社長：栗木 康幸

「MailBase」がメールシステムに負荷をかける可能性があれば、「MailBase」自体の冗長化も必要になりますが、既存のメールシステムに影響がないので、冗長化せずに導入できました。

現在は、2012年8月に導入した「Office 365」と「MailBase」を連携して使用しています。

■ 選定理由

既存メールシステムに影響なく、導入のしやすさ

「MailBase」の導入を決めた理由を教えてくださいませんか。

一番の決め手は、既存のメールシステムに影響なく導入ができる、導入のしやすさです。

アプライアンス型のシステムとは異なり、メールの経路に負荷や問題が生じることはなく、社内間のメールも基本構成で取得できる点を評価しました。仮に「MailBase」に障害が発生したとしても、当社のメールの配信が止まらない点が一番です。

■ 導入の効果

Office365のジャーナルに対応、完全メールアーカイブが可能に

Office 365と「MailBase」の連携に問題はありませんでしたか。

サポートの方に確認をしたところ、Office 365のジャーナルに対応しているとの返事をいただき、設定を変更するだけでした。

実際には以前のメールシステムから Office 365に移行するテスト運用期間に、Office 365と連携してアーカイブが取れることの動作確認を行い、問題なく稼働することを検証しました。

Office 365が持つアーカイブ機能との比較はされましたか。

Office 365の導入検討の際、アーカイブ機能については検討しましたが、次の2点の理由で、使用しないことにしました。

① 監査対応のアーカイブ先の二重化を防ぎたい。

Office 365導入前は「MailBase」、導入後はOffice 365と、監査対応をする際に監査レポートを抽出し、閲覧ができるようにするアーカイブ先が二重になることを防ぎたいと考えました。

② Office 365運用上の難しさ。

Office 365の場合、社員が退職して、退職者のアカウントを削除すると、アカウントのアーカイブも一緒に削除されてしまいます。すると監査対応には十分でなく、運用が難しいと考えました。

■ 将来の展望

MailBaseの個人利用を検討

「MailBase」の個人利用対応をどのように活用する予定ですか。

各社員が使用しているクライアント PC には、メールだけで何 GB から何十 GB ものデータが保存されています。個人情報保護やセキュリティの観点からも、クライアント PC にはできるだけデータを残しておかない方が安全であることは、皆さんもご承知の通りだと思います。

将来、会社としての具体的な方針が明示されたときに備えて、シンクライアントとまでいかなくとも、各人のクライアント PC にはメールに限らずデータをできるだけ保存しておかない方向に対応できるよう準備を進めています。

「MailBase」を個人利用できるようにすれば、各人のクライアント PC にはメールデータを残しておく必要がなく、メールを読むときには、「MailBase」のアーカイブにアクセスすればよいこととなります。「MailBase」は検索範囲を予め設定しておくことができますので、セキュリティ問題もクリアできますので、個人利用での活用を検討しています。

サイバーソリューションズ、「MailBase」への期待などありましたらお聞かせください。

現状、「MailBase」は監査用に使用していますので、日々、黙々とアーカイブを蓄積しています。

将来、個人利用など新たな取り組みを考えていますので、そうした際はご提案とサポートに期待しています。

本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。



「現在は監査機能のみを使用しています。」
堀田 様

